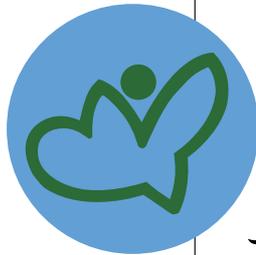




町民体育大会（大崎地区）



平成24年9月定例会

9月定例会・臨時会 ————— 2

8名の議員が一般質問 ——— 4～9

委員会報告 ————— 10～11

あれからどうなった・編集後記 — 12

おおさきかみじま
議会だより

第38号/2012年11月2日

大崎上島町議会

☎ (0846) 65-3130 (直通)

FAX (0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL: <http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>

第3回定例会(9月議会)

大崎上島町議会は、平成24年第3回定例会を9月20日、21日の二日間開催した。

8名の議員の一般質問に始まり、平成23年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告を受けた後、大崎上島町教育委員会委員の任命同意、条例改正や一般会計及び特別会計の9月補正を含む14議案、1件の工事請負契約及び2件の議員提案による意見書を審議し、全員一致で全ての案件を可決した。

なお、平成23年度大崎上島町一般会計ならびに11特別会計の歳入歳出決算認定については決算特別委員会に付託した。

決まった主なこと

○教育委員会委員の任命の同意

氏名 森下 立身 氏 東野

任期 平成24年10月1日から平成28年9月30日まで

○簡易水道再編推進事業集中監視システム設置工事(4620万円)

町内水道施設のポンプの運転状況、配水池の水位、流量を一括管理するため。

○一般会計(1億3539万円)増額

特別会計(3400万円)増額

○決算特別委員会を設置

平成23年度一般会計及び11特別会計の歳入歳出についての認定審査をする。

委員長 閑田 大祐 副委員長 前田 太

委員 中村 修司 藤原 龍秀 浜田 明利 渡辺 年範

第3回臨時会

平成24年7月31日第3回臨時会が開催され、全ての案件を全員一致で可決した。

○農業委員会委員の推薦について

大崎上島町農業委員会委員の議会推薦

氏名 川谷 寛子 氏 中原 洋子 氏 前田 太 氏

○工事請負契約の締結

簡易水道施設整備事業生野島系配水管布設工事 4620万円

平成23年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告書

区 分	実質公債費比率	将来負担比率
23年度決算健全化判断比率	15.7	28.9
22年度決算健全化判断比率	16.2	48.8
(早期健全化基準)	(25.0)	(350.0)
(財政再建基準)	(35.0)	—

審査意見書

健全化判断比率及び資金不足比率とも、現状では基準値内で推移しており、特に指摘する事項はないが、今後、地方交付税の合併特例措置の終了、町税等自主財源の減収も見込まれるなか、引き続き健全な財政運営が図られるよう努力されたい。

大崎上島町監査委員

■実質公債費比率

町の標準財政規模に占める借金返済額を示す比率。

18%を超えると、起債（借金）の際に知事の許可が必要となり、25%を超えると早期健全化が求められる団体となる。

■将来負担比率

市町村が将来返済しなければならない負債の標準財政規模に対する割合を示した率。350%を超えると早期健全化が求められる団体となる。

平成23年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算審査意見書

平成24年8月2日から8月7日まで、4日間にわたり平成23年度大崎上島町一般会計決算、11特別会計決算及び関係書類等について審査しました。

○決算の結果および意見

(要旨)

各決算とも適法かつ正確に処理されており、内容も適正なものと認めた。

町税及び各種使用料、貸付金等の収入未済額総額（滞納額）は前年並みの高水準にある。

今日の厳しい社会情勢のなか、今後ますます滞納が増えることが予想されるが、苦しい生活をやりくりして納付している住民もいる事を念頭に、町職員一丸となって早期に対応されたい。

町財政も今後ますます厳しさが予想されるので、行政の簡素化、効率化により更なる節減に努め、健全な財政運営を推進されたい。

また、将来を展望した諸施策の導入や人材確保、育成にも配慮されたい。

大崎上島町監査委員

大 成 淳二
蒔 田 篤雄

一般質問

町政を問う

8人の議員が14項目を質問



まえだ ふとし 議員
前田 太

問

防災拠点型木江屋内運動場の早期建設を

答

来年度着工ができるように準備したい

質問 (前田議員)

私は実現しなかった健康増進複合施設に代わる木江屋内運動場の整備・建設を訴えてきた。町長も必要性を認め、県道改良の時期に合わせて整備したいと答弁をされている。このような

経緯の中、高潮・津波対策を含めた木江地区の防災拠点機能を持った施設の建設を提案した。

この提案に町長は、「木江屋内運動場の整備だが、災害があったときの拠点が重要になっており、その機

問

町職員数の減少について

答

後継者育成に研修等の努力をしている

質問 (前田議員)

ここ数年で多数の熟練した町職員が退職されるが、採用は毎年二、三名だ。諸々の条件から町が独立した自治体であることを願うが、行政サービスの低下は避けたい。職員の資質向上と人員の確保への方策は。

答弁 (町長)

日常業務を通じて職務能力の向上を図ることが最も重要だが、職員の能力開発についての研修、特に20代の職員の提案研修を行っており、若い人たちからまちづくりなどに具体的提案が出てくると期待する。



木江屋内運動場

能を持つ施設にすることは大いに検討したい。」と答弁し、地域住民、町民も期待している。災害はいつ起きるかわからない。県道改良に併せての整備だとその時期は不透明、あまり先になると体育施設としての利用者も減少する。南海トラフ巨大地震が発生すると、この地域も2メートルの津波が押し寄せる想定だ。大きな予算措置が必要な事業

答弁 (町長)

木江屋内運動場は多数の地域住民が利用する木江地区の社会体育の重要な拠点になっている。しかし老朽化も進み、県道の改修に併せての整備では時期が明確にできない。一方、指摘にあるように津波予測も出ている状況だ。早急に整備する必要があると理解し、高齢者の方々にも健康施設として使い易い整備にするべきだと考える。津波対策や周辺住民の方に配慮し、具体的には来年度着工ができるように準備したい。



あかまつ よしお 赤松 良雄 議員

問 竹原フェリー乗り場の改善は

答 実施に向けて協議する

質問（赤松議員）
大崎上島町の玄関である竹原港の待合所の改善は今まで町や議会の要望により、国道出口交差点の改良や身障者トイレ・テレビ・エアコン・椅子などの設

置をしている。しかし建物は老朽化しひび割れが起きておりトイレは汚く、椅子も少なく島の玄関口として改善が必要では。広島県は、今年度「竹原港をクルーズ船が係留できる新規ビクター棧橋の整備や、観光客の利便性向上に

つながる港湾機能の向上策を検討している」とのこと。また東側の棧橋を西側に移動、中四国フェリーの待合所の利用を計画をしているとのこと。利用者の安全性や利便性を改善するため竹原市や県とどのような協議をしているのか。

問 無料レンタル自転車の配置は

答 検討する

質問（赤松議員）

自転車で島巡り観光をしている人が増えている。しまなみ街道では大規模な自転車のイベントを計画している。この風光明媚な島を散策するため島内の港で無料自転車貸し出しを実施してはいかがか。

自転車は放置自転車を補修して貸し出してはどうか。商工会では昨年度自転車で島内を一周し問題点をだし、今年サイクリングツアーを計画しているのとこのサイクリングや観光に

関し問題点をどのように把握しているのか。

答弁（産業観光課長）

サイクリストが多く島に来ており、サイクルマップや看板を設置している。要望も聞いている。放置自転車は安全性に問題があるため新車購入を検討する。メンテナンスや保険で赤字になるが観光面を考えた検討する。

答弁（建設課長）

待合所は1980年の建築で、竹原市は老朽化は認識している。ビクター棧橋工事が本年から実施の予定であり、待合所の建て替えを要望していく。



サイクリング風景

問 垂水港駐車場の改善は

答

駐車場の不足はない

質問（赤松議員）

今まで垂水フェリー乗り場駐車場改善の質問をしたが一向に解決していない。多くの町民から改善の要望を聞いている。町長としてどのように感じ、どのような解決策を考えているのか。

駐車場は身障者用に健常者が駐車、管理地に駐車で多くの町民が困っている。

答弁（町長）

常時満車の状況ではないし、民間駐車場も空いている。現状では駐車場の不足はない。

答弁（副町長）

今朝4台分空いていたが、時間帯によるので調査する。身障者用への駐車は啓発する。



まきた あつお
議員 蔭田 篤雄

問 南海トラフ地震、津波の対策は

答 地域防災計画を見直し決定したい

質問（蔭田議員）
内閣府が8月29日に示した南海トラフ巨大地震の最大被害の推計で、大崎上島町は1m以上浸水する面積は0・3平方キロで、最

大浸水深さの想定では、2m以上とされている。県道沿いの海岸線に面した多くの所で浸水し、本所、支所とも使えない可能性があると思われる。そこで何う。

- ①町民への周知と、避難場所はどうするのか。
- ②対策本部はどこにするのか。
- ③電子機器の対策は。
- ④備蓄物資の対策は。
- ⑤県道が使えない時の迂回路はどの様に考えているのか。

答弁（総務課長）
①防災行政無線で放送し消防団の協力を得て周知を図る。自宅近くの高台に避難していただく。
②本庁の2階に設置する。
④品目、場所は検討し、住民の方に協力をお願いします。

る。
⑤現状の道路を有効活用し、早期の復旧で対応する。
答弁（企画振興課長）
③現在データセンターで3つのシステムが稼働中、今後システム更新時に対応する。

再質問（蔭田議員）
古江農道と盛谷農道をつなげるべきでは。

答弁（町長）
今具体的な提案をいただいたので、検討する。



ふじわら たつひで
議員 藤原 龍秀

問 8号橋の見通しは

答 今すぐできない

質問（藤原議員）
町も加盟している中部島地域架橋促進期成同盟会が提言書をつくっている。
そこで今、安芸灘8号橋の実現性はどのく

らいか。
また竹原市への架橋の構想もある。それよりもフェリー便の充実を望む声もある。
8号橋を架けるならば、大三島へのルートを実現しなければ意味がないという

声もあるが、町長の考えは。
答弁（町長）
期成同盟会等で県、中国地方整備局長に要望し、秋には国に要望に行くことになっていく。その中で、広島県で唯一離島の町になっ

ている事架橋は、島民の悲願であることを強調した。
一方、離島航路の赤字の問題も要望した。他の町道、県道の維持管理は赤字という概念ではない。島はもろに赤字をかぶっていると話した。

竹原市への架橋は、少しは述べているが8号橋が中心だ。大三島への架橋が少しはふれているが愛媛県がやる気にならないと難しい。



木江地区浸水



わたなべ としのり 議員
渡辺 年範

問 社会教育施設の管理・補修は

答 定期的に行っている

場合、誰にどのような形で連絡すればよいのか。

2、グラウンドゴルフ場、ビーチバレーボールコートなど8施設ある。

維持修繕は、使用者の申し出などによりワックスがけなど定期的に行っており、備品の購入などは電話などで社会教育課に連絡していただければ対処する。

再質問（渡辺議員）
体育館は緊急事態の避難場所にもなるので、常時すぐ使えるような状態で管理すべきと思うが。

答弁（社会教育課長）

フロアの清掃、トイレトペーパーの補充、備品庫のかたづけなど利用者の協力を得ながら適切に管理していきたい。



かんだ だいすけ 議員
閑田 大祐

問 イノシシ捕獲量を増やす検討を

答 捕獲環境の整備に努める

最近では通行量の多い昼間の県道にも出没している。

答弁（産業観光課長）

今年度の捕獲頭数はすでに約440頭に達し、当初見込みの年間510頭を超える見込みとなっている。

に依頼し、箱わな27基を設置しているが、さらに10基購入し、捕獲の充実に努めたい。

捕獲頭数が増えているのは、山の上のほうでの捕獲

数が減り、下のほうに移動して、実際の頭数は変化していかないのではないかと考えられる。

今後は、狩猟免許保持者を増やすため、免許取得時の補助などを検討する。



イノシシ箱わな

質問（閑田議員）
イノシシの駆除については、以前からさまざまな取り組みがされているが、駆除が追いついていないように感じる。

捕獲量を増やす検討はしているのか。

質問（渡辺議員）
管理責任者の常駐していない社会教育施設はいくつあるのか。またそれは誰が責任者として管理しているのか。修理・補修が必要なもの

答弁（社会教育課長）
管理者の常駐していない社会教育施設は、元小・中学校の屋内運動場4、元グラウンドであった夜間照明施設

施設の管理責任は教育委員会にあり、維持管理は社会教育課の担当者が月2回程度施設の見回り点検を行っている。



なかむら しゅうじ 議員
中村 修司

問

地産地消推進に向け施設を整備すべきでは

答 アドバイザーによる検証を進めたい

組み計画を。

また、来年から受け入れの始まる体験型修学旅行での地元食材の確保・流通の観点からも、体制整備が必要ではないか。

答弁（産業観光課長）

十分な地産地消の取り組み

みとなっていないが、現在

町内の大量消費施設への納入会議を予定している。

答弁（企画振興課長）

民泊受け入れ家庭の食材確保の意向を調査し、地元商店や農家・漁家との調節を行いながら進める。

答弁（町長）

地元で取れたものを地元で消費し、生産者も消費者も利益となるシステムが理想である。今治市にも魅力的な施設が運営されている。こうした施設を町が整備して営業的に成り立つのが課題となる。優秀な営業

の人的支援と、財政的支援を積極的に行っていきたい。

答弁（企画振興課長）

今回のイベントにかかわっての行政としての人的支援は、若い職員が1名継続してスタッフと参加しており、今後の実行委員会への参加も確認している。財政面においては、今回、ふるさとづくり事業から、12万円の補助金で対応している。

再質問（中村議員）

地産地消は必要であり、有効であるが……。でとどまって来たのが今日まで現状である。来年からの民泊受け入れ開始によって、300人とか500人とかの地元食材がたびたび必要となるが、大いなる契機とすべきでは。

そのためにも、専門的な知識を持つアドバイザーによる提言も有効と思うが。

再答弁（町長）

施設経営にノウハウがない中、困難ではとの感覚で前に進んでいない面もある。アドバイザーによる意見を聞き検証してみることは有効と思うので、取り組みたい。

問 出合いの場創出はどうか継続するか

答 基本的には商工会青年部において継続を願う

質問（中村議員）

本年8月に「アイラズカップル」と銘打って出合いの場を創り出すためのイベントが、商工会青年部の主催で開催されている。このイベント開催に至った経緯や実施された内容はどのようなも

のであったのかについて説明を。

また、こうしたイベントの継続やさらに広域的取り組みに向けて、町としての支援をどのように考えているのか。

答弁（町長）

実施状況については、参

加者が町内の男性18名、女性5名、町外在住者11名となっており、参加者の感想としては、スタッフの対応もよく、イベントとして楽しめたとのことです。

当面は、商工会青年部において継続していただきながら、必要となれば行政側



のぶたに としき 議員
信谷 俊樹

問 現在の建設業界は

答 公共事業予算の獲得に努力する

経済振興をすべきでは。

町長を先頭に課長や係長が、国や県に事業発注を積極的に働きかけて、経済波及を考慮すべきでは。

実質収支は余剰金が少ないほうが好ましい。

予算を計上した以上特別な事由が無い限り執行すべきでは。

町の建設事業も減少している中で、町を挙げて国、

問 AEDの設置運用は

質問 (信谷議員)

①町全体の設置数は。
②公共の場への設置数は。
③小・中学校生徒対象の講習予定は。

④公務員や学校の先生は全員AED対応ができるのか。

⑤AEDの最近の使用例は。

⑥全公務員対象の講習は24か所17個です。

⑦AEDの設置数は20か所です。

習を受けさせる気はあるか。知人・友人・家族・周りの人がAED使用方法を理解していれば、緊急時に人命救助が行なわれる可能性もあり、前向きに考慮する価値があるのでは。

③普通救命講習を受けています。

④全教職員は講習を受けて使用できる、町職員は使用できない者もいる。

⑤以前、大崎駅伝大会において、意識不明になり救急車で搬送中にAEDを使用し意識が戻った例がある。

⑥講習会を実施し、全職員が使用できる体制整備を図る。

⑦AEDの設置数は20か所です。

⑧AEDの最近の使用例は。



AED



AED説明資料

問 高潮対策事業は

答 積極的に取り組んでいく

質問 (信谷議員)

継続した高潮災害対策事業を県、国に要望すべきでは。

高潮時でも町道全体が安全通行できるように国、県に要望する。

総務福祉文教常任委員会報告

委員長：赤松良雄 副委員長：越田賢一
委員：西田 巧 中村修司 関田大祐
藤原龍秀 辰田真司

大崎上島中学校の現状報告

教育長から「大崎中学校で授業妨害等問題が発生し、学校としてPTA緊急役員を会開催するとともに地域の協力を要請し、再発防止に取り組み。」との報告がありました。

委員会としては「事実確認を適確におこない再発防止を。学校の取り組み方向が見えない。学力保証をきちんとすべきでは。授業は2人の先生で行っては。問題のある子に本気で取り組

む教師がいるのか。」などの意見ができました。

教育長から「学校と教育委員会が協議しながら取り組みを強化します。」との回答があり関心を持って動向を注視していきます。

大崎海星高校に工業系の教育課程要望

来年度から生徒の進路実績やニーズにより工業と福祉系の教育課程を廃止する計画があり、議会として地元の要望と現実の問題として復活を学校に申し入れましたが、教員の人員や設備等の理由で復活できないとの回答がありました。

障害者グループホーム建設

今年度計画しているグループホーム建設について県から1900万円の補助（国庫補助）決定通知がありました。10室で建設総額は6715万円、国1900万円、大崎福祉会と町がそれぞれ2407万円負担です。

設置場所は第2ふれあい

工房西側で10月中旬入札し3月末完成予定です。

体験型モニターツアーを実施

参加した生徒には好評でしたが、雨により權伝馬体験が出来ず、悪天候対策について旅行社からの注文がありました。



体験型修学旅行モニターツアー

税務課

法人税は企業の業績悪化や中電の人員減で昨年7月比50%に落ち込んでいます。来年から工事が始まる大崎クールジェンの固定資産税・法人税の把握を要請しました。

教育委員会

文化センターイベント事業補助金は昨年まで300万円でしたが今年から100万円になり自主事業は大変少なくなります。

議員からイベントの位置づけと方針を再検討すべき。公開録画など民放とのタイアップを考えてはとの提案をしました。

県の補助金事業で各学校に配置している図書補助員は制度がなくなった後も継続するのかとの問いに、「検討する。」との答弁がありました。

総務課

町内のすべての街灯をLED化するための事業費は1873万円で年度末までの工期です。

防災無線の木江地区（本通り・野賀）追加分工事は1627万円で12月までに完成します。

保健衛生課

国民健康保険の一般療養給付費は昨年に比べ約1割増となっています。

大崎上島クリーンセンター（広島中央環境衛生組合施設）汚泥再生処理建設工事費は3億6750万円、工期は来年度末です。リサイクル推進施設として工事するものです。



大崎上島クリーンセンター(草木)

産業建設常任委員会報告

委員長：信谷俊樹 副委員長：浜田明利
委員：松原 茂 濱中国雄 前田 太
蒔田篤雄 渡辺年範

6月定例会以降の委員会、9月定例会の補正・議案の審議内容を報告します。全体的には公共事業の減少が著しいなか、県に地域経済の活性化につながる公共事業の要望をするよう提言しました。

◇建設課

9月補正で県費補助事業の林道新設事業を計上。道路維持関係では瀬井樋門に係る道路舗装を追加。社会資本整備総合交付金

事業では国の交付金の減額により明石原田線、沖浦本郷線、大串大西3号線の道路改良事業費が大幅に減額となりました。

公共土木施設災害復旧費で東野の生野島循環線道路3カ所を復旧します。

町道生野島循環線の廃止・認定については、東邦亜鉛製錬所の堆積場拡張に伴い、本線の一部が堆積場内に含まれる為に再編しますが、今後も町道と同様通行できます。

子育て定住促進住宅の条例改正は「抽選その他公平な方法により入居者を選定するものとする」とされているため「入居者選考審議会」を設立するためです。今後の懸案事項は各種町営住宅の取り扱いの統一化です。

◇産業観光課

大崎上島地域産品販路開拓事業は、昨年特産品のアイデア募集を行い優秀賞や最優秀賞を選び、商品化にむけ広島県商工会連合会の

専門機関に調査検討を依頼。近々特産品開発委員会で試食検討を行う予定です。

問題点は原材料が少ないゆえに大量生産できず、島外発注すれば多額の資金を有するなどです。

補正予算関係では、中山間地域等直接支払交付金・有害鳥獣駆除対策費や水産振興対策費・商工振興対策費・自然公園施設管理費などの増額です。

地籍調査事業では東野地区の一部区域の字界が入り乱れている為に変更して整理します。

農業委員会委員の議会推薦は、県農業会議及び町農業委員会から女性参画の要請があり2名の人選を行い議員1人を含め3名を推薦しました。



試作品(青トマトピクルス)

◇上下水道課

簡易水道施設整備事業は町内4簡易水道施設の接続工事の早期完成を提言しました。

ポンプの故障等による断水を防止するため、町内のポンプ所の運転状況、配水池の水位・流量が一目でわかる簡易水道集中監視システムを大崎支所に設置します。

合併浄化槽の検査は県の権限移譲を受けて、今年度は大崎上島町が330件の未実施世帯の受検を重点指導します。

日本下水道事業団との協定による大崎浄化センターの汚泥脱水機設置工事は、工事実施が大幅に遅れる懸念があるので厳しく対応すべきと提言しました。

議会傍聴を

してみませんか。

次回の定例会は**12月**です

日程は町内放送・ホームページでお知らせします。



質問

大串干拓地の活用策は

回答

企業誘致を含めた対応を検討したい

その後の経過

現在、大規模太陽光発電施設・メガソーラを設置する提案が数社からあり、干拓地東側の一部へ誘致する方向で検討しています。

干拓地西側は、住民同士または住民と町外の人々との交流の場として投資額を抑えた形で整備していくのが良いと考えています。

今年度シーカヤックを55艇購入する計画であり、艇庫を整備するので、次年度からしっかりと活用していきます。

外浜海岸整備については、後背地が農地でないことから、国・県の助成を得て整

備することは困難な状況です。



メガソーラー

意見書採択

B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書

我が国のB型・C型肝炎感染者・患者は約350万人と推定され、血液製剤の投与、輸血、集団予防接種や治療時の注射器の使い回しなどの医療行為による感染であり、国の責任による医原病とされています。大多数の患者は何の補償

もなく、高い医療費負担や治療に苦しみ、毎日平均120人が亡くなっており、国が被害を償い、感染者が安心して医療を続けられるよう治療と生活を支える公的支援制度を確立することが、一日も早くもとめられています。患者救済のため、速やかに必要な措置を講じるよう要望します。

地方財政の充実・強化を求める意見書

急激な高齢社会が到来し、国の歳出に占める社会保障関係費の割合は5割を超え、社会保障の機能強化と持続可能性の確保が一層重要となっています。国においては2013年度の地方財政予算全体の安定確保に向けて、特段の措置を講ずるよう強く要望します。

編集後記

下水道の普及等によって瀬戸内海の水質が近年大幅に改善し、昔のきれいな海に戻りつつあるように思えます。

しかし、一部では過剰な浄化によって海水中の栄養が不足し、養殖海苔の色が褪せる「色落ち」や、餌不足による漁獲量の減少等が起きています。このため瀬戸内海沿岸の漁連・漁協は栄養塩の適正化等を盛り込んだ新瀬戸内海再生法の制定を求めています。法制化されても元通りの豊かな海に戻るまでには時間がかかるでしょう。

このように海洋環境の修復は困難なのですが、水産物の供給源である瀬戸内海を守るため改善に向けた関係者の努力が望まれます。

(H・K)

議会広報委員

- 委員長 渡辺年範
- 副委員長 閑田大祐
- 委員 濱中国雄
- 中村修司
- 越田賢一
- 蒔田篤雄

お知らせ

- 本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。
- ※インターネットをご利用の場合は、ホームページの注目記事「○○議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。
- ※録画の視聴は町議会メニューの議会録画中継配信でご覧いただけます。

